

聖 霊

第2回 旧約聖書に見る聖霊の働き

□アウトライン

1. 天地万物の創造
2. ノアの洪水前、罪が満ちるのを120年間抑制
3. 出エジプト
4. 士師たちの上に聖霊が臨んだので、民族の危急を救う力を得た
5. イスラエルの王として立つとき、サウルとダビデには聖霊が彼らの上に臨んだ
6. 預言者たちには聖霊が内住した
7. 旧約時代の特徴：聖霊は、原則として信者の上にとどまる場所まで。信者の中に内住することもあったが、預言者など限定的。信者から聖霊が去ることもあった

1. 天地万物の創造

(1) 混沌から秩序へ

創1：2 地は茫漠として何もなく、闇が大水の面の上にあり、神の霊がその水の面を動いていた。

(2) 地の設計者

イザヤ40：12～13 だれが手のひらで水を量り、手の幅で天を測り、地のちりを升に盛り、山々を天秤で量ったのか。もろもろの丘を秤で。だれが、主の霊を押し量り、主の助言者として主に教えたのか。

(3) 宇宙の天体の創造

詩33：6 主のことばによって 天は造られた。天の万象もすべて 御口の息吹 (霊) によって。

(4) いのちの創造と保持

詩104：24～30 主よ あなたのみわざはなんと多いことでしょう。あなたは知恵をもってそれらをみな造られました。地は あなたのもので満ちています。・ ・
(中略) ・ ・あなたが御霊を送られると 彼らは創造されます。あなたは地の面を新しくされます。

2. ノアの洪水前、罪が満ちるのを120年間抑制

創6:1~5 さて、人が大地の面に増え始め、娘たちが彼らに生まれたとき、神の子らは、人の娘たちが美しいのを見て、それぞれ自分が選んだ者を妻とした。そこで、主は言われた。「わたしの霊は、人のうちに永久にとどまることはない。人は肉にすぎないからだ。だから、人の齢は百二十年にしよう。」 神の子らが人の娘たちのところに入り、彼らに子ができたそのころ、またその後も、ネフィリムが地にいた。彼らは昔からの勇士であり、名のある者たちであった。主は、地上に人の悪が増大し、その心に凶ることがみな、いつも悪に傾くのをご覧になった。

- 神の子ら・・・天使。ただし、人間界に入り込み、人の女性と雑婚したので、聖なる天使ではなく、墮天使（悪霊）たち。
- 人の齢は百二十年にしよう・・・人類の罪が満ちるスピードは聖霊によって抑制されたので、ノアが箱舟を建造し、人々に神のことばを伝えるための時間的猶予が与えられた。洪水による神のさばきまでの時間的猶予は120年。
- ネフィリム・・・人間の女性と墮天使の間に生まれた子たちが成人していくと、それまでの普通の人間とは違って、超人的な能力を発揮したので、普通の人間と区別する呼び方として、彼らは「ネフィリム」と呼ばれた。彼らはみな、「勇士」（男性名詞）であり、「名のある者たち」（男性名詞）であった。したがって、皆が男性であり、女性はいない。人類から女性がいなくなったらどうなるか、「女の子孫」（創3:15）として預言されていたメシアが、登場できなくなる。これが、墮天使たちによる雑婚の真の目的であった。
- 神のさばき・・・120年後、人類はネフィリム化し、普通の人間はノアとその家族だけとなった。神は洪水を起こし、ノアとその家族だけを救った。一方、雑婚した墮天使たちは、よみの中の「タータラス」という場所に閉じ込められ、今もそこに監禁されている（ユダ6節）

ユダ6 またイエスは、自分の領分を守らずに自分のいるべき所を捨てた御使いたちを、大いなる日のさばきのために、永遠の鎖につないで暗闇の下に閉じ込められました。

- 暗闇の下・・・「タータラス」。よみの中の4区画のうちの一つ。悪霊を閉じ込める場所は2つある。一つは「アビス（底知れぬ所）」：悪霊を一時的に閉じ込め、解放することがある場所。もう一つが「タータラス（暗闇の下）」：「永遠の鎖につないで」とあるように、解放されることはない。

3. 出エジプト

- (1) 幕屋の製作に従事するリーダーは神の霊に満たされた

出 35:30~31 モーセはイスラエルの子らに言った。「見よ。主は、ユダ部族の、フルの子ウリの子ベツアルエルを名指して召し、彼に、知恵と英知と知識とあらゆる仕事において、神の霊を満たされた。

- (2) 民の長老たち 70 人の上に一時的に聖霊がとどまった

民 11:24~25 モーセは出て行って、主のことばを民に語った。そして民の長老たちのうちから七十人を集め、彼らを天幕の周りに立たせた。すると主は雲の中にあって降りて来て、モーセと語り、彼の上にある霊から一部を取って、その七十人の長老に与えられた。その霊が彼らの上にとどまると、彼らは預言した。しかし、重ねてそれをするとはなかった。

- (3) 荒野を旅する間、民が逆らったことで聖霊は悲しまれた（イザヤの預言より）

イザ 63:7~10 私は主の恵みを語り告げる。主の奇しいみわざの数々を。主が与えてくださったすべてのことを。そのあわれみと豊かな恵みにしたがって与えてくださった、イスラエルの家への豊かな恵みを。

主は言われた。「まことに、彼らはわたしの民、偽りのない子たちだ」と。こうして主は彼らの救い主になられた。

彼らが苦しむときには、いつも主も苦しみ、主の臨在の御使いが彼らを救った。その愛とあわれみによって、主は彼らを贖い、昔からずっと彼らを背負い、担ってくださった。しかし彼らは逆らって、主の聖なる御霊を悲しませたので、主は彼らの敵となり、自ら彼らと戦われた。

- 私・・・将来のイスラエル民族。大患難期の末期にイエスをメシアとして認め、その信仰によって民族的救いを受けるイスラエルの人々を、ひとりの人「私」として表現。そのとき、イスラエル民族の大半が大患難期末期の迫害を避けてボツラにいる。イザヤ 63 章 1~6 節は、メシアがボツラに地上再臨する預言である。
- 救い主になられた・・・イザヤ書 7~14 節は、出エジプトの回想。出エジプトは、エジプトで奴隷となっていたイスラエルの民族的救い（身体的な救い）。
- 彼らが苦しむときは、いつも主も苦しみ・・・エジプトで 400 年間奴隷

状態にあったときのこと

- 主の臨在の御使いが彼らを救った・・・主の臨在の御使い（他の箇所では、「主の御使い」とは、第二位格の神（子なる神）が地上に現れて働かれるときの呼称。受肉前のイエス・キリストである。
- 彼らは逆らって・・・エジプトを脱出したあと、当時のイスラエル民族は荒野で主に逆らい続けた。

(4) モーセの従者ヨシュアには聖霊の内住があった

民 27:15～19 モーセは主に言った。「すべての肉なるものの霊をつかさどる神、主よ。一人の人を会衆の上に定め、彼が、彼らに先立って出て行き、先立って入り、また彼らを導き出し、導き入れるようにしてください。主の会衆を、羊飼いのいない羊の群れのようにしないでください。」主はモーセに言われた。「あなたは、神の霊の宿っている人、ヌンの子ヨシュアを連れて来て、あなたの手を彼の上に置け。彼を祭司エルアザルの前に、また全会衆の前に立たせ、彼らの目の前で彼を任命せよ。

4. 士師たちの上に聖霊が臨んだので、民族の危急を救う力を得た

- (1) オテニエル（士師 3：10）
- (2) ギデオン（士師 6：34）
- (3) エフタ（士師 11：29）
- (4) サムソン（士師 13：25、14：6、19、15：14）

5. イスラエルの王として立つとき、サウルとダビデには聖霊が彼らの上に臨んだ

(1) サウル

Iサム 10：1～10 サムエルは油の壺を取ってサウルの頭に注ぎ、彼に口づけして言った。「主が、ご自分のゆずりの地と民を治める君主とするため、あなたに油を注がれたのではありませんか。今日、私のもとを離れていくとき、・・・（中略 この後、サウルが会う3組の人々について預言）・・・主の霊があなたの上に激しく下り、あなたも彼らと一緒に預言して、新しい人に変えられます。これらのしるしがあなたに起こったら、自分の力でできることをしなさい。神があなたとともにおられるのですから。・・・（中略）・・・」

サウルがサムエルから去って行こうと背を向けたとき、神はサウルに新しい心を

与えられた。これらすべてのしるしは、その日のうちに起こった。彼らがそこからギブアに行くと、見よ、預言者の一団が彼の方にやって来た。すると、神の霊が彼の上に激しく下り、彼も彼らの間で預言した。

- 君主とするため・・・油注ぎは、モーセの律法では祭司職の任命のときに行われた。ここでは、王を立てるために行われた。預言者サムエルは、主の命令を受けて、サウルに油注ぎをした。
- 主の霊、神の霊・・・油は聖霊を象徴する。油を頭に注ぐことは、聖霊がその人の上を下ることを象徴する。サウルが油注ぎを受けると、サウルに新しい心が与えられ、聖霊が彼の上を下った。

(2) ダビデ

Iサム 16：1～13 主はサムエルに言われた。「いつまであなたはサウルのことで悲しんでいるのか。わたしは彼をイスラエルの王位から退けている。角に油を満たせ。さあ、わたしはあなたをベツレヘム人エッサイのところに遣わす。彼の息子たちの中に、わたしのために王を見出したから。」・・・(中略)・・・サムエルは油の角を取り、兄弟たちの真ん中で彼に油を注いだ。主の霊がその日以来、ダビデの上に激しく下った。サムエルは立ち上がってラマへ帰って行った。

- 預言者サムエルは、主の命令を受けて、ダビデに油注ぎをした。このことはエッサイ家の中だけにとどめられ、外部には公表されなかったが、このあとダビデは主の守りと導きの中で、王となっていく。

IIサム 23：2～3 主の霊は私（ダビデ王）を通して語り、そのことばは私の舌の上にある。イスラエルの神は仰せられた。イスラエルの岩は私に語られた。『義をもって人を治める者。神を恐れて治める者。』

- これは「ダビデの最後のことば」（IIサム 23：1）の、語り出しの部分。主の霊、すなわち聖霊がダビデを通して語った。その内容は、イスラエルの神、イスラエルの岩、すなわち主のことばである。聖霊の働きの一つは、主のことばを人に明らかに知らせること（啓示）である。

6. 預言者たちには聖霊が内住した

(1) 旧約時代の預言者たち全般について

I ペテ 1:10~11 この救いについては、あなたがたに対する恵みを預言した預言者たちも、熱心に尋ね求め、細かく調べました。彼らは、自分たちのうちにおられるキリストの御霊が、キリストの苦難とそれに続く栄光を前もって証したときに、だれを、そしてどの時を指して言われたのかを調べたのです。

(2) 預言者ミカ

ミカ 3:8 しかし、私（預言者ミカ）には力が満ちている。主の霊によって、公正と勇気に満ちている。ヤコブにはその背きを、イスラエルにはその罪を告げる。

(3) 預言者ダニエル

ダニ 6:3 さて、このダニエルは、ほかの大臣や太守よりも際立って秀でていた。彼のうちにすぐれた霊が宿っていたからであった。そこで王は、彼を任命して全国を治めさせようと思った。

(4) 預言者エゼキエル

エゼ 2:1~2 その方（第2位格の神、受肉前のイエス・キリスト）は私に言われた。「人の子よ、自分の足で立て。わたしがあなたに語る。」その方が私に語りかけると、霊が私のうちに入り、私を自分の足で立たせた。そのとき、私は自分に語りかけることばを聞いた。

- 預言者エゼキエルは、バビロン捕囚の中にいた。エホヤキン王とともに捕囚となってから5年目、バビロンのケバル川のほとりで、天が開け、神々しい幻を見た。彼の目に最初に見えたのは天使たちの姿であった。それも天使の最上の階級に位置する、ケルビムであった。彼が次に見たのは、ケルビムの頭上、大空のはるか上の方に、サファイアのように見える王座に似たものであった。そして、そのはるか上に、人間の姿に似たお方が見えた。その方の周りには輝きは、雨の日の雲の間にある虹のようであった。エゼキエルはこれを見て、ひれ伏した。そのとき、語る者の声を聞いた。その声は、人間の姿に似たお方の声であった。その方は、第2位格の神、受肉前のイエス・キリストであった。
- その方が、エゼキエルに「自分の足で立て。わたしがあなたに語る」と言われた。すると、聖霊がエゼキエルの中に入り、彼を自分の足で立たせた。そのとき、彼は自分に語りかけることばを聞いた。預言者に神のことばを明確に告げたのは、預言者の中に入った聖霊である。

7. 旧約時代の特徴：聖霊は、原則として信者の上にとどまるところまで。信者の中に内住することもあったが、預言者など限定的。信者から聖霊が去ることもあった

(1) サムソン

士師 16 : 19～20 彼女（デリラ）は膝の上でサムソンを眠らせ、人を呼んで彼の髪の毛七房を剃り落させた。彼女は彼を苦しめ始め、彼の力は彼を離れた。彼女が「サムソン、ペリシテ人があなたを襲って来ます」と言ったとき、彼は眠りから覚めて、「今度も前のように出て行って、からだをひとゆすりしてやろう」と言った。彼は、主が自分から離れられたことを知らなかった。

(2) サウル

Iサム 16 : 14 さて、主の霊はサウルを離れ去り、主からの、わざわいの霊が彼をおびえさせた。

(3) ダビデの祈り

詩 51 : 11 私を あなたの御前から投げ捨てず あなたの聖なる御霊を 私から取り去らないでください。

- 新約時代では、信者には信じたときに聖霊の内住が与えられる。そして、いったん聖霊が内住すると、信者が罪を犯しても聖霊は去らない。よって、このようなダビデの祈りは、旧約時代にのみ、有効な祈りであった。

(4) 聖霊の内住を求める祈り

ルカ 11 : 11～13 あなたがたの中で、子どもが魚を求めているのに、魚の代わりに蛇を与えるような父親がいるのでしょうか。卵を求めているのに、サソリを与えるような父親がいるのでしょうか。ですから、あなたがたは悪い者であっても、自分の子どもたちには良いものを与えることを知っています。それならなおのこと、天の父はご自分に求める者たちに聖霊を与えてくださいます。」

- このイエスの約束は、新約聖書の福音書に記されているが、十字架と聖霊降臨の前の時期なので、時代としてはまだ旧約時代。旧約時代では聖霊の内住はあっても限定的だったが、イエスはここで、「求めるなら聖霊の内住が与えられる」と約束してくださった。新約時代になると、こういう求めは必要ない。信じたときにすべての信者に聖霊の内住が与えられるからである。よって、この約束が有効なのは、旧約時代が終わるまで、すなわち十字架と聖霊降臨までである。